



2026年2月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年10月14日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
コード番号 2798 URL <https://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船曳 睦雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 武本 尚子

TEL 03-5412-0065

半期報告書提出予定日 2025年10月15日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年3月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	6,437	8.3	96	49.0	127	19.3	120	53.0
2025年2月期中間期	5,944	7.4	64	22.7	106	19.7	78	0.4

(注) 包括利益 2026年2月期中間期 120百万円 (52.9%) 2025年2月期中間期 78百万円 (0.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	36.47	—
2025年2月期中間期	23.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	5,096	798	15.7
2025年2月期	4,824	678	14.1

(参考) 自己資本 2026年2月期中間期 798百万円 2025年2月期 678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,081	7.9	401	237.2	485	95.5	527	102.5	160.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年2月期中間期	3,298,400 株	2025年2月期	3,298,400 株
2026年2月期中間期	332 株	2025年2月期	282 株
2026年2月期中間期	3,298,093 株	2025年2月期中間期	3,298,141 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、賃上げの動きや春先の訪日外国人旅行者数の増加など前向きな動きがみられましたが、不安定な国際情勢や米国の通商政策等の影響により、景気の先行きは不透明さを増しております。

外食産業におきましては、雇用・所得の改善に伴う消費者の外食需要の増加や、インバウンド需要の拡大による回復傾向が続いております。しかしながら、人材不足や物価上昇等が継続していることに加え、当中間連結会計期間の後半においては、これまで回復を牽引してきたインバウンド需要についても増加幅が縮小するなど、事業環境は引き続き厳しい状況です。

このような状況の下、当社グループは、高付加価値化、インバウンド需要の取り込み、和食事業の強化、カジュアルイタリアン事業の展開、そして人材不足・コスト高騰への対応といった課題に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間におきましては、2025年3月から5月の売上高が好調に推移し、また、前年に新規に出店した店舗が通期で貢献しました。6月以降、インバウンド需要の落ち着きや猛暑による消費活動の停滞の影響はあったものの、当中間連結会計期間の売上高は、前年同中間期を上回りました。利益面におきましては、人材の確保及び育成にかかる費用や販促費用の増加はありましたが、新規出店及び改装にかかる費用が前年同中間期を下回ったこと、並びに増収の効果により、各段階損益において前年同期を上回りました。

これらの結果、売上高は6,437百万円(前年同中間期比8.3%増加)、営業利益は96百万円(前年同中間期比49.0%増加)、また、営業外収益として協賛金収入20百万円及び持分法による投資利益9百万円を計上したこと等により、経常利益は127百万円(前年同中間期比19.3%増加)、親会社株主に帰属する中間純利益は120百万円(前年同中間期比53.0%増加)となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントの状況は次の通りであります。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、引き続き、高付加価値化の方針の下でブランド力向上のための企画や、インバウンド需要の取り込みに取り組んでまいりました。インバウンド需要の落ち着きや猛暑の影響による来店客数の減少はありましたが、前年に新規出店した店舗が貢献したほか、前年、改装のために一部の期間休業した店舗が当中間連結期間は通常営業を行ったことにより、売上高は前年同中間期を上回って推移いたしました。増収効果に加え、前年の新規出店及び改装にかかる費用が剥落したことにより、営業利益も前年同中間期を上回りました。

この結果、当中間連結会計期間の同グループの売上高は2,581百万円(前年同中間期比10.4%増加)、営業利益は212百万円(前年同中間期比9.1%増加)となりました。店舗数は直営店10店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについても、付加価値の向上と客単価の引き上げに努めてまいりました。イートインの営業につきましては、客単価引き上げと、前年に新規に出店した店舗の寄与により、売上高は前年同中間期を上回って推移いたしました。デリバリーの営業につきましても、外部サービスの活用によって件数が増加したことにより、売上高は前年同中間期を上回って推移いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の同グループの売上高は3,856百万円(前年同中間期比6.9%増加)、営業利益は472百万円(前年同中間期比29.7%増加)となりました。

店舗の状況につきまして、2025年3月に、FC店「SALVATORE CUOMO Cafe mozoワンダーシティ」、同5月に、直営店「SALVATORE CUOMO Cafe 福岡空港」をそれぞれ新規に出店いたしました。また、FC店「SALVATORE CUOMO & BAR 浦安」を譲り受け、2025年8月に直営店「Tavernetta Salvatore 浦安」としてリニューアルオープンいたしました。また、直営店「PIZZA SALVATORE CUOMO サブナード」は商業施設のテナント変更に伴い閉店いたしました。これらの結果、店舗数は直営店38店舗、FC店30店舗となりました。

③その他

その他は、人材派遣事業(ただし同事業は休眠中)により構成されております。当中間連結会計期間の同グループの売上高は一百万円(前年同中間期は売上高一百万円)、営業損失は1百万円(前年同中間期は営業損失1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は2,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円増加いたしました。これは主として、売上高の増加による売掛金の増加146百万円等によるものです。固定資産合計は2,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円増加いたしました。これは主として、新規出店及び店舗設備の維持更新工事を行ったこと等による建物及び構築物の増加67百万円、その他(有形固定資産)の増加50百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,096百万円となり、前連結会計年度末に比べ272百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は2,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ273百万円増加いたしました。これは主として、仕入高の増加による買掛金の増加75百万円、金融機関からの借入による短期借入金の増加58百万円、新規出店及び営業活動の活発化に伴う未払金の増加110百万円等によるものです。固定負債合計は2,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ121百万円減少いたしました。これは主として、返済による長期借入金の減少134百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,298百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円増加いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は798百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する中間純利益の計上120百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は15.7%（前連結会計年度末は14.1%）となりました。

（3）キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度の期末残高と比較して30百万円増加し、1,563百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、246百万円の収入超過（前年同中間期は224百万円の収入超過）となりました。

これは、税金等調整前中間純利益118百万円に減価償却費99百万円、減損損失8百万円等の調整を加味した上で、売上高の増加に伴う売上債権の増加額146百万円、棚卸資産の減少額5百万円及び仕入債務の増加額75百万円、未払金の増加額55百万円、未払消費税等の減少額6百万円等があったことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、160百万円の支出超過（前年同中間期は153百万円の支出超過）となりました。

これは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出142百万円等があったことによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、55百万円の支出超過（前年同中間期は69百万円の支出超過）となりました。

これは、新規借入による短期借入金の増加額58百万円、長期借入金の返済による支出111百万円等があったことによるものです。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向等を踏まえ、2025年4月14日に公表いたしました2026年2月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日公表いたしました「2026年2月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,533,299	1,563,718
売掛金	625,605	772,295
原材料及び貯蔵品	193,050	187,901
その他	269,986	239,385
貸倒引当金	△2,347	△2,897
流動資産合計	2,619,594	2,760,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	755,081	822,691
その他(純額)	219,232	269,839
有形固定資産合計	974,313	1,092,531
無形固定資産		
その他	8,706	20,334
無形固定資産合計	8,706	20,334
投資その他の資産		
投資有価証券	208,355	218,200
長期貸付金	218,101	178,101
敷金及び保証金	589,639	614,856
その他	205,834	212,222
投資その他の資産合計	1,221,931	1,223,380
固定資産合計	2,204,951	2,336,246
資産合計	4,824,545	5,096,650
負債の部		
流動負債		
買掛金	480,280	555,958
短期借入金	—	58,288
1年内返済予定の長期借入金	222,932	246,272
未払金	657,175	767,515
未払法人税等	4,466	2,293
契約負債	70,571	80,444
株主優待引当金	64,445	67,104
その他	238,663	233,887
流動負債合計	1,738,535	2,011,763
固定負債		
長期借入金	1,466,282	1,331,476
資産除去債務	880,731	875,484
その他	60,760	79,478
固定負債合計	2,407,774	2,286,438
負債合計	4,146,309	4,298,202

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	375,831	375,831
利益剰余金	252,698	372,995
自己株式	△688	△837
株主資本合計	677,841	797,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	394	458
その他の包括利益累計額合計	394	458
純資産合計	678,235	798,448
負債純資産合計	4,824,545	5,096,650

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	5,944,997	6,437,391
売上原価	4,765,853	5,054,591
売上総利益	1,179,143	1,382,800
販売費及び一般管理費	※1 1,114,396	※1 1,286,331
営業利益	64,746	96,468
営業外収益		
受取利息	2,882	3,764
協賛金収入	14,981	20,787
持分法による投資利益	13,376	9,746
その他	21,433	15,828
営業外収益合計	52,672	50,127
営業外費用		
支払利息	9,443	17,125
その他	1,492	2,400
営業外費用合計	10,935	19,526
経常利益	106,483	127,070
特別損失		
減損損失	2,323	8,610
特別損失合計	2,323	8,610
税金等調整前中間純利益	104,160	118,459
法人税、住民税及び事業税	2,137	2,293
法人税等調整額	23,382	△4,130
法人税等合計	25,519	△1,837
中間純利益	78,640	120,297
親会社株主に帰属する中間純利益	78,640	120,297

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	78,640	120,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	64
その他の包括利益合計	100	64
中間包括利益	78,741	120,361
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	78,741	120,361
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	104,160	118,459
減価償却費	78,104	99,139
減損損失	2,323	8,610
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	336	550
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	717	2,658
受取利息及び受取配当金	△2,904	△3,779
支払利息	9,443	17,125
持分法による投資損益 (△は益)	△13,376	△9,746
売上債権の増減額 (△は増加)	△83,597	△146,689
未収入金の増減額 (△は増加)	475	8,439
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,157	5,148
前払費用の増減額 (△は増加)	△4,017	6,111
仕入債務の増減額 (△は減少)	85,774	75,677
未払金の増減額 (△は減少)	64,698	55,082
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△67,506	△6,224
預り金の増減額 (△は減少)	101,102	11,967
その他	△21,516	19,879
小計	235,060	262,410
利息及び配当金の受取額	2,924	3,794
利息の支払額	△9,096	△15,561
法人税等の支払額	△4,201	△4,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,687	246,177
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△172,166	△142,450
無形固定資産の取得による支出	△5,944	△13,216
貸付金の回収による収入	40,000	40,000
貸付けによる支出	-	△548
敷金及び保証金の差入による支出	△18,886	△28,537
敷金及び保証金の回収による収入	3,971	488
その他	-	△15,990
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,025	△160,254
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	50,000	58,288
長期借入金の返済による支出	△111,466	△111,466
リース債務の返済による支出	△8,110	△2,175
自己株式の取得による支出	△132	△149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,708	△55,503
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,953	30,419
現金及び現金同等物の期首残高	1,792,207	1,533,299
現金及び現金同等物の中間期末残高	※1 1,794,161	※1 1,563,718

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

保証債務

(株)ICONIC LOCATIONS JAPANに対するもの

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
家賃に対する保証債務	453,283千円	406,391千円
合計	453,283	406,391

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次の通りです。

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
給与及び手当	226,181千円	289,060千円
支払手数料	351,168	392,009
株主優待引当金繰入額	41,924	45,317
貸倒引当金繰入額	336	550

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記の通りです。

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
現金及び預金	1,794,161千円	1,563,718千円
現金及び現金同等物	1,794,161	1,563,718

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,338,432	3,606,564	5,944,997	—	5,944,997	—	5,944,997
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,338,432	3,606,564	5,944,997	—	5,944,997	—	5,944,997
セグメント利益又は損失 (△)	194,516	364,167	558,684	△1,138	557,545	△492,798	64,746

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△492,798千円には、セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて2,323千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,581,277	3,856,114	6,437,391	—	6,437,391	—	6,437,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,581,277	3,856,114	6,437,391	—	6,437,391	—	6,437,391
セグメント利益又は損失 (△)	212,222	472,143	684,366	△1,149	683,217	△586,748	96,468

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△586,748千円には、セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて8,610千円の減損損失を計上しております。